

国道 55 号阿南道路

国道 55 号阿南道路は、小松島市大林町森ノ本を起点とし、阿南市橘町青木に至る延長 18.4km の国道バイパスです。並行する旧国道 55 号（現県道 130 号大林津乃峰線）は阿南市中心市街地等を通るため交通渋滞や交通事故の増加が課題になり、また阿南地区の新産業都市計画を支援するためにもバイパス整備が必要とされていました。このため、小松島市及び阿南市中心部の交通混雑の緩和と交通安全の確保、並びに阿南市以南から徳島市方面への交通の円滑化を目的として、阿南道路が昭和 48 年に事業化されました。

しかし、社会経済情勢の変化などもあり、工事着手には時間を要しました。小松島市大林町森ノ本～阿南市西路見江川間 9.0km が着工されたのは昭和 62 年であり、この区間は東四国国体の開催に合わせて平成 5 年 8 月に暫定 2 車線で供用開始されました。その後順次、路線延長や 4 車線化が進められ、これまでに小松島市大林町森ノ本から阿南市橘町大浦までの 17.2km が供用済で、阿南市橘町大浦～青木間 1.2km が未供用という状況です。

これまでの阿南道路の整備により、以下のような効果が現れています。第 1 に旧国道の交通渋滞の緩和と安全性の向上です。旧国道から阿南道路への交通転換により、阿南市中心市街地等を通る旧国道の交通渋滞が緩和し、交通量の減少に伴い交通事故が減少しています。

第 2 に定時性の向上です。阿南道路の整備により阿南市以南から徳島市方面への交通が円滑になり、定時性が確保されるようになりました。暫定 2 車線で供用されていた時には那賀川大橋北詰交差点などで朝夕ピーク時に慢性的な渋滞が発生していましたが、令和 2 年 3 月の 4 車線化により交通渋滞が緩和され、定時性がさらに向上しました。

第 3 に地域経済の活性化支援です。阿南道路の沿線には辰巳工業団地、大湊新浜工業団地、橘湾火力発電所のほか、製紙工場、LED 関連企業等が立地しており、阿南市は県内屈指の工業都市として発展しています。阿南道路は工業団地や企業へのアクセスを向上させ、物流や人の流れを円滑にするとともに、立地条件の向上により企業の新規立地や雇用の増加を支援する役割も果たしています。

第 4 に地域住民の防災支援です。阿南道路の那賀川大橋は、地震時の津波に浸水しない高さで整備されており、阿南市が作成した津波避難計画で緊急避難場所に指定されています。地域住民は阿南市によって阿南道路横に整備された緊急避難階段を利用することにより、緊急時には阿南道路に一時避難することができるようになっています。

この他にも阿南道路は、三次医療施設や主要観光地へのアクセス向上や、道の駅「公方の郷なかがわ」の開設などにより、地域の産業経済活動の活発化や住民生活の向上に貢献しています。

＜参考文献：四国地方整備局事業評価監視委員会資料、徳島河川国道事務所HP など＞

